

平成31年3月26日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	宍道湖西岸地区大区画ほ場整備に係る営農支援活動報告 その8 ～出雲産小豆の生産拡大とブランド化を目指し出雲産小豆振興大会を開催～
-----	---

(ダイジェスト)

出雲市内での小豆の生産拡大とブランド化を図るため当センターが出雲産小豆振興大会を開催し、生産者、研究者、学識経験者、農機メーカー、実需者、関係機関ら70名の参加がありました。面積拡大のネックとなる雑草対策や島根大学が行った成分分析結果等について専門家の話を聞くとともに2つの大会スローガンを採択し、生産者・実需者・関係者等で今後の結束を誓いました。

2月27日、県東部農振センターが、JA平田中央支店大会議室で出雲産小豆振興大会を開催し、出雲産小豆生産者・学識経験者（島根大学等）・実需者（菓子・赤飯）・農機メーカー（クボタ等）・関係機関など約70名が参加しました。

まず、今年度の小豆振興の取り組み等について、県やJAしまねが報告した後、「小豆栽培における雑草対策について」と題して国の研究機関（農研機構）の講演や「30年産小豆の成分等評価・東京でのアンケート調査結果」について島根大学から報告がありました。また、アルファー食品（株）が出雲産小豆を使った赤飯の試食と「赤飯の日（11/23）」のPRを行いました。

会の終わりには、大会のスローガンとして、「実需者との契約栽培をすすめ、出雲産小豆のロット確保と品質の高位平準化に取り組もう！」「産学官、一層連携して取り組もう！出雲産小豆のブランド化」を採択し、生産者・関係者で今後の結束を誓いました。

今後も出雲普及部では、産学官連携により出雲産小豆のブランド化について、関係機関と一層連携しながら支援していきたいと考えています。

